

平成30年度 第2回川崎市住居表示懇談会 会議録

1 開催日時 平成31年 2月 7日(木) 午前10時25分～午前11時25分

2 開催場所 川崎市役所第3庁舎15階 第1会議室

3 出席者 委員 菊地委員、関委員、高梨委員、田中委員、廣瀬委員、吉田委員
事務局 鈴木課長、吉田課長補佐、萩本職員、平山職員、山岸職員

4 議題 (1) 町名変更の手続きについて (公開) 【資料1、2】
(2) 川崎市境町の町名変更について (公開) 【資料3～8】
(3) その他

5 傍聴人 1人

6 会議内容(要約方式)

事務局 議事次第1の町名変更の手続きについて事務局より報告させていただきます。

【町名変更の手続きについて資料1、2に基づき説明】

御説明させていただいた内容で、何か御質問はございますでしょうか。

(質問及び意見等なし)

次に、議事次第2の「さかいまち」「さかいちょう」の町名変更について、御説明させていただきます。

【川崎区境町の町名変更について資料3～8に基づき説明】

それでは、皆様から御意見を賜りたいと存じます。よろしく申し上げます。

高梨委員 私どもが取り扱う事業から申し上げますと、郵便物の関係となりますが、記載された漢字やひらがなで住所を読み取っておりますけれども、町名の読み方が変わることによる影響がどのように出るか気になるところでございますので、確認いたします。

また、ゆうちょ銀行についても住所・氏名・口座名義を登録していますが、読み方の部分であれば影響はないかと思えます。ただ、こちらについても確認させてください。

鈴木課長 ありがとうございます。読み方を変更することについて郵便番号は変わらないという認識でよろしいでしょうか。

高梨委員 はい。郵便番号については支障ないと思えます。

鈴木課長 郵便番号がない場合は住所を読み取っているという理解でよいでしょうか。

高梨委員 はい。住所から読み取っています。

鈴木課長 郵便番号の検索機能として、ホームページに載せている町名にルビの記載があったか

と思いますが、変更をお願いする場合もあるかと思いますが、宜しくお願いします。

高梨委員
鈴木課長

そのような場合は、私どもの方で対応いたします。

ありがとうございます。

続きまして、田中委員へ伺います。仮に読み方が変わった場合に懸念されるようなことはございますか。

田中委員

登記の記録上は読み仮名をふってございませぬので、何か手続きが生じることはないかと思いますが、こちらの方で使用している機械等で読み方を入れているところがあれば、それは変更することになるかもしれません。一方で、所有者様に行っていただく手続きはないと思います。

鈴木課長

ありがとうございます。

次に廣瀬委員に伺います。仮に読み方が変わった場合に、先ほど説明させていただきました「案内標識」に限らず、無線による緊急車両とのやり取り等についても何か懸念される事項はありますか。

廣瀬委員

読み方の変更であれば問題はないと思います。告示上の読み方と使用されている読み方が違うことが実際にあるが対応しています。

鈴木課長

ありがとうございます。

それでは、続きまして、少し別の見方になりますが、昭和37年に「住居表示に関する法律」が施行されたことにより町名の変更については住居表示に基づき行い、近年においては平成の大合併等によって市町村名の変更があったかと思いますが、これによって良かったことや悪かったことについて、関委員及び菊地委員より御意見はございますでしょうか。

また、今回の町名の読み方を変更することによる支障や考慮すべき点がありましたら、賜りたいと思います。

関 委員

地名というのは環境から生まれてくるものです。「さかいまち」とは公称であり、「さかいちょう」は愛称であると言えます。そもそも地名は日常生活で使っていく、育てていくものであり、「まち」よりも「ちょう」が言いやすいということがあったんでしょう。(境町の)周辺については「まち」ではなく「ちょう」が多く使われています。この点から、「まち」に違和感があり、その積み重ねの中で「ちょう」と呼ぶようになったのではないのでしょうか。賛否ではないですが、そういった地名の歴史があるのではないかと思います。

鈴木課長

ありがとうございます。

菊地委員

大正11年と大正13年に新町名が生まれるわけですが、そのあたりで「まち」と「ちょう」半々ぐらいに付けられました。そこで「まち」が付けられたと思われまふ。資料4をご覧くださいと字名として「東越耕地(とうのこしこうち)」とありますが、これが「境」という地名の由来になったわけだ。なぜかという、(町の)境のところにつく地名が「東越(とうのこし)」なんです。これは、堀之内村と大島、渡田の境にあるということで「東越」という名前が付いたわけだ。そのため、勝手に「境」という名前が付いたわけではなく、「東越」という名前から「境」という名前が付いたわけであり、そのあとの

「まち」と読むか「ちょう」と読むかは、その時の代表者が届け出たときに「まち」にしたということであります。

鈴木課長 ありがとうございます。

続いて、吉田委員より未来に向けて地名を保存・継承していくという観点から、町名を変更することについて何か御意見等がありましたら賜りたいと思います。

吉田委員 地元の方が慣れ親しんで読み、表してきたものが、生活していく上で大切だと思いますので、基本的には地元の方たちの御意見が一番かと思います。こういった御要望は継承していく上でも重要であると考えます。

鈴木課長 ありがとうございます。

そのほか、何か御意見等はございますでしょうか。

関 委員 「境町だより」について、「境町」という地名の由来を載せてもらって、さらに自分たちの町の大切さを伝えてもらえたらいいのではないだろうか。

鈴木課長 今回多くの方々から署名を収集いただきまして、地域の皆様が自分の町に愛着があるということが分かりましたし、今後も「境町」という地名が引継がれていくことは大切であると思いますので、今の御意見をお話しさせていただきたいと思います。

吉田委員 住民の方々の御意見・御希望を聞くことはすごく良いことと思っておりますし、後押しさせていただきたいと思っておりますが、歴史的な由来を踏まえて変更したいということと、新たに現代的な名称に変更したいというのは次元の異なる議論であると思っております。できる限り、歴史的な由来あるいは地域の人たちが長く親しんで育ててきた地名は大切にしていく必要があると思っております。

鈴木課長 ありがとうございます。

事務局 続いて議事次第3のその他でございますが、今回の議題に関連する事項でなくても差し支えありませんので、御意見等がございましたら賜りたいと思います。

菊地委員 登戸地区（区画整理）について、地名を付けなおすのであれば、菅と同じ付け方がいいのではないのでしょうか。もし提案できる機会がありましたら伝えていただきたいと思っております。登戸が字を作ったときに甲乙丙丁を使ってしまっているが、地域の人達は甲乙丙丁と呼んでいないのが現状です。そうであれば、登戸を頭に付けて地域の人が使っている愛称を後ろに付ける方法もあると考えております。そういったことを提案してあげることがあってもいいのかなと思っております。

鈴木課長 わかりました。区画整理事業を行っている、まちづくり局へ情報提供させていただきます。その他、御質問等はございますでしょうか。

（質問及び意見等なし）

事務局 特段、質問等がないようですので、以上をもちまして第2回住居表示検討委員会を閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

以上